

**21**

[東北大・理]

$a$  を実数とする。円  $C$  は点  $(a, -a)$  で直線  $y = -x$  を接線にもち、点  $(0, 1)$  を通るものとする。  $C$  の中心を  $P(X, Y)$  として、以下の問いに答えよ。

- (1)  $X, Y$  を  $a$  を用いて表せ。
- (2)  $a$  が動くときの点  $P$  の軌跡と直線  $y = 1$  で囲まれる図形の面積を求めよ。

**22**

[大阪大]

実数  $\theta$  が動くとき,  $xy$  平面上の動点  $P(0, \sin \theta)$  および  $Q(8 \cos \theta, 0)$  を考える。  $\theta$  が  $0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$  の範囲を動くとき, 平面内で線分  $PQ$  が通過する部分を  $D$  とする。  $D$  を  $x$  軸のまわりに 1 回転してできる立体の体積  $V$  を求めよ。

**23**

〔熊本大〕

$xyz$  空間内の 3 点  $P(0, 0, 1)$ ,  $Q(0, 0, -1)$ ,  $R(t, t^2 - t + 1, 0)$  を考える。  $t$  が  $0 \leq t \leq 2$  の範囲を動くとき、三角形  $PQR$  が通過してできる立体を  $K$  とする。以下の問いに答えよ。

- (1)  $K$  を  $xy$  平面で切ったときの断面積を求めよ。
- (2)  $K$  の体積を求めよ。

24

[名古屋大]

$-\frac{1}{4} < s < \frac{1}{3}$  とする。xyz 空間内の平面  $z = 0$  の上に長方形

$$R_s = \{(x, y, 0) \mid 1 \leq x \leq 2 + 4s, 1 \leq y \leq 2 - 3s\}$$

がある。長方形  $R_s$  を  $x$  軸のまわりに 1 回転してできる立体を  $K_s$  とする。

- (1) 立体  $K_s$  の体積  $V(s)$  が最大となるときの  $s$  の値, およびそのときの  $V(s)$  の値を求めよ。
- (2)  $s$  を(1)で求めた値とする。このときの立体  $K_s$  を  $y$  軸のまわりに 1 回転してできる立体  $L$  の体積を求めよ。

21

[東北大・理]

(1) 円  $C$  の中心  $P(X, Y)$  は、点  $(a, -a)$  を通り、接線  $y = -x$  に垂直な直線上にあり、

$$Y + a = X - a, \quad X = Y + 2a \cdots \cdots \textcircled{1}$$

また、点  $P$  と点  $(a, -a)$  の距離と、点  $P$  と点  $(0, 1)$  の距離は等しいので、

$$(X - a)^2 + (Y + a)^2 = X^2 + (Y - 1)^2, \quad -2aX + 2(a + 1)Y + 2a^2 = 1 \cdots \cdots \textcircled{2}$$

①②より、 $-2a(Y + 2a) + 2(a + 1)Y + 2a^2 = 1$ 、 $2Y = 2a^2 + 1$  となり、

$$Y = \frac{2a^2 + 1}{2}, \quad X = \frac{2a^2 + 1}{2} + 2a = \frac{2a^2 + 4a + 1}{2}$$

(2) (1)より、点  $P$  の軌跡は、 $x = \frac{2a^2 + 4a + 1}{2}$ 、 $y = \frac{2a^2 + 1}{2}$  から、

$$\frac{dx}{da} = 2a + 2, \quad \frac{dy}{da} = 2a$$

すると、 $x, y$  の増減は右表のようになる。

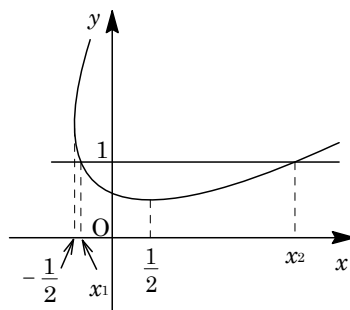
また、点  $P$  の軌跡と直線  $y = 1$  との交点は、

$$\frac{2a^2 + 1}{2} = 1, \quad a = \pm \frac{1}{\sqrt{2}}$$

これより、点  $P$  の軌跡と直線  $y = 1$  とで囲まれる図形の面積  $S$  は、

$$\begin{aligned} S &= \int_{x_1}^{x_2} (1 - y) dx \\ &= \int_{-\frac{1}{\sqrt{2}}}^{\frac{1}{\sqrt{2}}} \left(1 - \frac{2a^2 + 1}{2}\right) (2a + 2) da \\ &= \int_{-\frac{1}{\sqrt{2}}}^{\frac{1}{\sqrt{2}}} (-2a^3 - 2a^2 + a + 1) da \\ &= 2 \int_0^{\frac{1}{\sqrt{2}}} (-2a^2 + 1) da \\ &= 2 \left[ -\frac{2}{3} a^3 + a \right]_0^{\frac{1}{\sqrt{2}}} = -\frac{4}{3} \cdot \frac{1}{2\sqrt{2}} + \frac{2}{\sqrt{2}} = \frac{2}{3} \sqrt{2} \end{aligned}$$

$a$	...	-1	...	0	...
$\frac{dx}{da}$	-	0	+		+
$x$	↘	$-\frac{1}{2}$	↗	$\frac{1}{2}$	↗
$\frac{dy}{da}$	-		-	0	+
$y$	↘	$\frac{3}{2}$	↘	$\frac{1}{2}$	↗



### [解説]

(2)では、最初、パラメータを消去しようとしたのですが、交点の座標の値をみて、考え直しました。その結果が、上の解答例です。

22

[大阪大]

まず、 $\theta = \frac{\pi}{2}$  のとき、線分 PQ を表す方程式は、 $x = 0$  ( $0 \leq y \leq 1$ ) である。

また、 $0 \leq \theta < \frac{\pi}{2}$  のとき、線分 PQ を表す方程式は、

$$y = -\frac{\tan \theta}{8}x + \sin \theta \quad (0 \leq x \leq 8 \cos \theta)$$

さて、直線  $x = t$  ( $0 \leq t \leq 8 \cos \theta$ ) 上における  $y$  のとりうる値の範囲を求める。

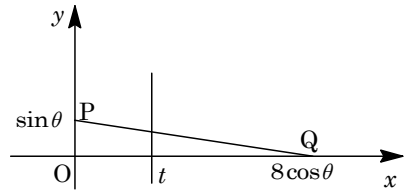
ここで、 $f(\theta) = -\frac{t}{8} \tan \theta + \sin \theta$  とおくと、

$$f'(\theta) = -\frac{t}{8} \cdot \frac{1}{\cos^2 \theta} + \cos \theta = \frac{8 \cos^3 \theta - t}{8 \cos^2 \theta}$$

すると、 $0 \leq t \leq 8 \cos \theta$  から  $0 \leq \sqrt[3]{t} \leq 2\sqrt[3]{\cos \theta}$  となり、 $\cos \alpha = \frac{\sqrt[3]{t}}{2}$  となる  $\alpha$  がただ 1 つ存在する。また、 $8 \cos \beta = t$  ( $\cos \beta = \frac{t}{8}$ ) とおくと、

$\frac{\sqrt[3]{t}}{2} \geq \frac{t}{8}$  から、 $\alpha \leq \beta$  である。

これより、 $f(\theta)$  の増減は右表のようになり、



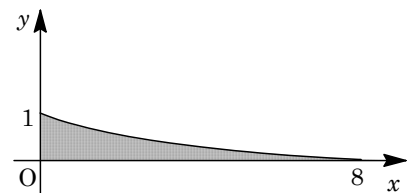
$\theta$	0	...	$\alpha$	...	$\beta$
$f'(\theta)$		+	0	-	
$f(\theta)$	0	↗		↘	0

$$\begin{aligned} f(\alpha) &= -\frac{t}{8} \tan \alpha + \sin \alpha = \sin \alpha \left( -\frac{t}{8 \cos \alpha} + 1 \right) = \sqrt{1 - \frac{t^{\frac{2}{3}}}{4}} \left( -\frac{t^{\frac{2}{3}}}{4} + 1 \right) \\ &= \frac{(4 - t^{\frac{2}{3}})^{\frac{1}{2}}}{2} \cdot \frac{4 - t^{\frac{2}{3}}}{4} = \frac{1}{8} (4 - t^{\frac{2}{3}})^{\frac{3}{2}} \end{aligned}$$

よって、線分 PQ が通過する部分  $D$  は、

$$0 \leq y \leq \frac{1}{8} (4 - x^{\frac{2}{3}})^{\frac{3}{2}}$$

したがって、 $D$  を  $x$  軸のまわりに 1 回転してできる立体の体積  $V$  は、



$$\begin{aligned} V &= \pi \int_0^8 \frac{1}{64} (4 - x^{\frac{2}{3}})^3 dx = \frac{\pi}{64} \int_0^8 (64 - 48x^{\frac{2}{3}} + 12x^{\frac{4}{3}} - x^2) dx \\ &= \frac{\pi}{64} \left[ 64x - 48 \cdot \frac{3}{5} x^{\frac{5}{3}} + 12 \cdot \frac{3}{7} x^{\frac{7}{3}} - \frac{1}{3} x^3 \right]_0^8 = \frac{\pi}{64} \left( 2^9 - \frac{9}{5} \cdot 2^9 + \frac{9}{7} \cdot 2^9 - \frac{1}{3} \cdot 2^9 \right) \\ &= 2^3 \pi \left( 1 - \frac{9}{5} + \frac{9}{7} - \frac{1}{3} \right) = \frac{128}{105} \pi \end{aligned}$$

[解説]

線分の通過領域を求める際に、1 文字を固定して処理する有名問題です。なお、定積分の数値計算が面倒なので、変数を取り直した方がよかったかもしれません。

23

[熊本大]

- (1) まず、 $\triangle PQR$  の  $xy$  平面での切り口は、線分  $OR$  である。  
すると、立体  $K$  を  $xy$  平面で切ったときの断面は、線分  $OR$  の通過領域として求められる。

さて、 $0 \leq t \leq 2$  のとき、点  $R(t, t^2 - t + 1, 0)$  は、 $xy$  平面上で放物線  $y = x^2 - x + 1$  ( $0 \leq x \leq 2$ ) ……①を描く。

以下、 $xy$  平面上で考えると、①から、 $y' = 2x - 1$  となり、点  $(a, a^2 - a + 1)$  における接線の方程式は、

$$y - (a^2 - a + 1) = (2a - 1)(x - a) \dots\dots\dots ②$$

原点を通るとき、 $-(a^2 - a + 1) = -a(2a - 1)$ 、 $a^2 - 1 = 0$   
 $0 \leq a \leq 2$  から  $a = 1$  であり、このとき②は、 $y = x$  となる。

さらに、 $t = 2$  のとき  $R(2, 3)$  で、直線  $OR: y = \frac{3}{2}x$  と放物線①との交点は、 $x^2 - x + 1 = \frac{3}{2}x$  より、

$$2x^2 - 5x + 2 = 0, \quad x = \frac{1}{2}, 2$$

以上より、線分  $OR$  の通過領域は、右図の網点部となり、その面積を  $S_0$  とすると、

$$\begin{aligned} S_0 &= \int_0^1 (x^2 - x + 1) dx - \frac{1}{2} \times 1^2 + \int_{\frac{1}{2}}^2 \left\{ \frac{3}{2}x - (x^2 - x + 1) \right\} dx \\ &= \left[ \frac{x^3}{3} - \frac{x^2}{2} + x \right]_0^1 - \frac{1}{2} + \int_{\frac{1}{2}}^2 -\left(x - \frac{1}{2}\right)(x - 2) dx \\ &= \frac{1}{3} - \frac{1}{2} + 1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{6} \left(2 - \frac{1}{2}\right)^3 = \frac{43}{48} \end{aligned}$$

- (2) まず、立体  $K$  を  $z$  軸に垂直な平面で切ったときの断面は、 $K$  を  $xy$  平面で切ったときの断面と相似である。

そこで、 $0 \leq k \leq 1$  のとき、 $K$  を平面  $z = k$  で切ったときの断面積を  $S_k$  とおくと、相似比が  $1 - k : 1$  であることから、 $S_k : S_0 = (1 - k)^2 : 1$  となり、

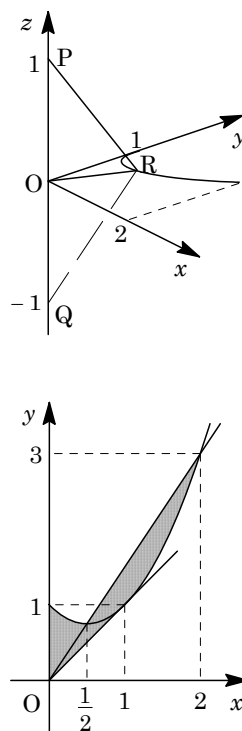
$$S_k = (1 - k)^2 S_0 = \frac{43}{48} (1 - k)^2$$

立体  $K$  は  $xy$  平面について対称なので、その体積  $V$  は、

$$V = 2 \int_0^1 S_k dk = \frac{43}{24} \int_0^1 (k - 1)^2 dk = \frac{43}{72} \left[ (k - 1)^3 \right]_0^1 = \frac{43}{72}$$

## [解説]

設問(1)の定点通過する線分  $OR$  の通過領域は、図形的に解いています。

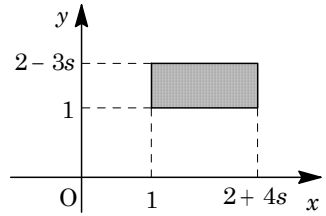


24

[名古屋大]

- (1) 右図の長方形  $R_s$  を  $x$  軸のまわりに 1 回転してできる立体  $K_s$  の体積  $V(s)$  は、

$$\begin{aligned} V(s) &= \pi \{ (2-3s)^2 - 1^2 \} (2+4s-1) \\ &= 3\pi (3s^2 - 4s + 1)(4s + 1) \\ V'(s) &= 3\pi \{ (6s-4)(4s+1) + 4(3s^2 - 4s + 1) \} \\ &= 6\pi s(18s-13) \end{aligned}$$



すると、 $-\frac{1}{4} < s < \frac{1}{3}$  における  $V(s)$  の増減は右表のようになる。

$s$	$-\frac{1}{4}$	...	0	...	$\frac{1}{3}$
$V'(s)$		+	0	-	
$V(s)$		↗	$3\pi$	↘	

よって、 $V(s)$  は、 $s=0$  のとき最大値  $3\pi$  をとる。

- (2)  $s=0$  のとき、長方形  $R_s : 1 \leq x \leq 2, 1 \leq y \leq 2$  となり、立体  $K_s$  を表す式は、

$$1 \leq y^2 + z^2 \leq 4, 1 \leq x \leq 2$$

さて、立体  $K_s$  を、平面  $y=k$  で切断したときの断面は、

$$1 - k^2 \leq z^2 \leq 4 - k^2 \dots\dots\dots \textcircled{1}, 1 \leq x \leq 2 \dots\dots\dots \textcircled{2}$$

ここで、断面の存在する  $k$  の範囲は、 $-2 \leq k \leq 2$  であるが、 $xz$  平面に関する対称性から、以下、 $0 \leq k \leq 2$  で考える。

- (i)  $0 \leq k \leq 1$  のとき

$$\textcircled{1} \text{より、} \sqrt{1-k^2} \leq |z| \leq \sqrt{4-k^2}$$

$\textcircled{2}$  と合わせると、断面は右図のようになる。

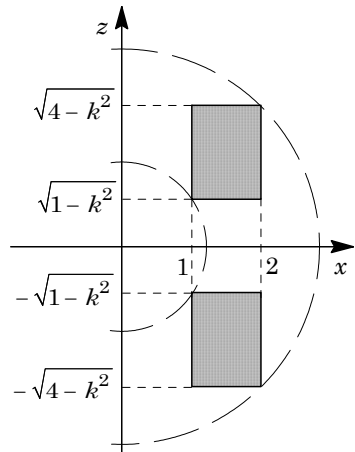
この断面を  $y$  軸のまわりに 1 回転してできるドーナツ形の図形の外径を  $R$ 、内径を  $r$  とすると、

$$R^2 = 2^2 + (\sqrt{4-k^2})^2 = 8 - k^2$$

$$r^2 = 1^2 + (\sqrt{1-k^2})^2 = 2 - k^2$$

よって、このドーナツ形の面積  $S(k)$  は、

$$S(k) = \pi(R^2 - r^2) = 6\pi$$



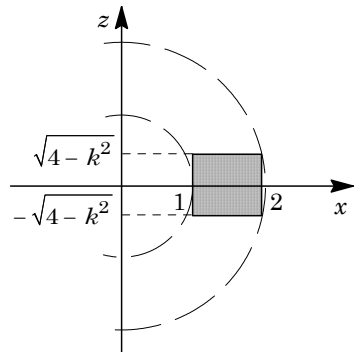
- (ii)  $1 \leq k \leq 2$  のとき

$$1 - k^2 \leq 0 \text{より、} \textcircled{1} \text{から、} -\sqrt{4-k^2} \leq z \leq \sqrt{4-k^2}$$

$\textcircled{2}$  と合わせると、断面は右図のようになる。

この断面を  $y$  軸のまわりに 1 回転してできるドーナツ形の図形の外径を  $R$ 、内径を  $r$  とすると、

$$R^2 = 2^2 + (\sqrt{4-k^2})^2 = 8 - k^2, r^2 = 1^2$$





よって、この図形の面積  $S(k)$  は、 $S(k) = \pi(R^2 - r^2) = \pi(7 - k^2)$

(i)(ii)より、立体  $L$  の体積  $V$  は、

$$\begin{aligned} V &= 2 \int_0^2 S(k) dk = 2 \int_0^1 6\pi dk + 2 \int_1^2 \pi(7 - k^2) dk = 12\pi + 2\pi \left[ 7k - \frac{k^3}{3} \right]_1^2 \\ &= 12\pi + \frac{28}{3}\pi = \frac{64}{3}\pi \end{aligned}$$

### [解説]

立体の回転体の体積を求める問題で、20年ほど前にはよく見かけました。回転軸に垂直に切った断面の形状を考えることがポイントです。なお、上の解答例で用いた円柱面の方程式については「ピンポイント レクチャー」を参照してください。